

平成23年度 第4回 東京都健康長寿医療センター研究部門倫理委員会 会議概要

開催日時 平成24年2月21日（火） 午後2時～5時25分

開催場所 研究所 4 階大会議室

出席委員 新開委員長、丸山副委員長、直井委員、河津委員、服部委員、山口委員、小林委員、高橋委員
田久保委員、河本委員 （出席委員10名／定数10名）

受付番号	新規・迅速	申請者	研究課題名	判定	条件・勧告又は不承認の理由等
64	迅速	村山 繁雄	高齢者連続開頭剖検例を用いた、変形型老化病理の網羅的研究による、高齢者ブレインリソースの構築	承認	
65	迅速	西 真理子	行政と住民ネットワークの連携による孤立予防戦略の検証	承認	
66	新規	石井 賢二	代謝型グルタミン酸受容体タイプ1 結合能測定リガント炭素-11標識ITMMの有用性と安全性に関する検討	承認	説明文書が難しく見受けられるため、イラストを入れた形など分かりやすい表現を検討いただきたい。
67	新規	石井 賢二	有酸素運動の強度と継続時間の違いによる脳内 μ オピオイド受容体結合能と局所脳血流の変化の解明	承認	共同研究先においても倫理審査を行った上で研究を行うこと。承認後は共同研究先の倫理審査の申請書(写)、承認通知(写)を提出すること。
68	新規	村山 繁雄	全ゲノム解析情報をベースとした認知症の病態解明	承認	共同研究先の倫理審査の申請書(写)、承認通知(写)を提出すること。
69	新規	村山 繁雄	うつ病患者死後脳を用いたAMPA受容体動態解析	承認	共同研究先の倫理審査の申請書(写)、承認通知(写)を提出すること。
70	新規	村山 繁雄	インフルエンザ脳症発症の病理学的検討	承認	研究対象の症例数を6例から2例に修正し再提出すること。 共同研究先の倫理審査について、健康長寿医療センターのサンプル使用することを明記するよう軽微な変更申請を依頼すること。
71	新規	伊藤 雅史	神経変性疾患の新規バイオマーカー・治療標的となるmicroRNAの同定とその有用性の評価	承認	同意書について、次回作り変える際に説明者欄を設けることを検討されたい。
72	新規	伊藤 雅史	新規バイオマーカー・治療標的となるmicroRNAの同定とその臨床的有用性の評価	条件付承認1	使用する説明書・同意書が固まり次第提出すること。 説明書には、サンプル採取時の具体的な分量や血液・尿の採取に伴う苦痛・危険性について記載すること。また、どういった共同研究体制で行われ、その機関間をサンプルが行き来する旨を記載すること。 以上の点について、再度提出し委員長の確認を受けた上で、実施すること。
73	新規	新開 省二	JST-RISTEX「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」研究開発領域研究開発プロジェクト「高齢者の虚弱化を予防し健康余命を延伸する社会システムの開発」	承認	申請書の不備（研究期間を2015年3月31日まで）を修正し、再提出すること。
74	新規	島田 千穂	終末期医療と事前指示に関する意向調査	承認	調査内容について、ポスター等で外来に掲示することを検討されたい。
75	新規	金 憲経	高齢者の転倒関連運動機能に関する調査	承認	研究協力依頼文に資金元（民間企業名）がわかるように記載するとともに、研究結果を戻す表現を分かりやすく整理すること。

受付番号	新規・迅速	申請者	研究課題名	判定	条件・勧告又は不承認の理由等
76	新規	石崎 達郎	社会経済的格差と高齢者の健康や医療介護サービス利用に関する研究（Ⅰ）：既収集データの二次解析	承認	
77	新規	石崎 達郎	社会経済的格差と高齢者の健康や医療介護サービス利用に関する研究（Ⅱ）：新規調査の実施とデータ解析	承認	データ解析については承認する。研究デザイン、プロトコールについては研究組織の代表者機関で審査を行っており、こちらでは審査は行わない。
78	新規	平野 浩彦	専門的口腔ケア介入が地域居住高齢者の口腔および全身状態に及ぼす変化	承認	介入群、非介入群の説明の前に研究全体の構造がわかる説明文書を提出すること。比較研究であること、グループが選択できないことを記載すること。
79	新規	村山 陽	小学校時における高齢者ボランティアとの交流が、中学入学後の心理・社会的発達に及ぼす影響に関する追跡調査	承認	申請書の不備（研究期間を平成27年3月31日まで）を修正し、再提出すること。回収の際に担任の先生が内容を確認することがないよう留意すること。